

研究テーマ 小中9年間を見通した主体的・対話的な授業の創造
—学習規律の徹底とICTの有効活用を通して—

研究授業の協議の柱

- ①指導改善ポイントは有効であったか。(かく活動が入る)
- ②単元の目標達成に向けて、本時の役割が明確であったか。
(単元指導計画は、問題解決的な学習過程(アクティブラーニング)を
ふまえているか)
- ③意欲的に学び合おうとする授業態度であったか。

1. 授業改善について

- ①年間7回の校区研究授業を柱に、その成果と課題を日々の実践につなげる。
- ②アクションプランを作成し、単元の目標に基づいた「かく活動」を計画的に仕組む。
- ③単元のゴールを明確にした授業計画をたて実践する。
- ④思考力、表現力の向上のため、課題解決の道筋を組み立て説明させる活動や目的にあった適切な言語活動を仕組む。
- ⑤意欲を引き出す「めあて」、わかりやすくて確な「まとめ」、自分のことばで書く「振り返り」を確実に行う。
- ⑥30%未満の児童生徒への手立てをさらに工夫し日常的に実践する。
- ⑦当たり前前の方が当たり前前ができる生徒を大切に、機を逃さず肯定的評価を行う。
- ⑧本年度も、培遠中学校区 授業チェックシートによる検証を定期試験ごとに実施する。
- ⑨講師を招いて「カリキュラムマネジメント」の研修を行う。

2. 定期試験対策について

- ・試験発表の日には、家庭に試験発表のお知らせの手紙を配布する。
- ・試験勉強のやり方について、「学習の手引き」を使って、全クラス統一して指導する。
- ・試験勉強ノートを「ガッチリノート」と名付け、30ページ以上を目標に取り組ませる。
- ・何をどのように書けばよいかは、教科担任が授業の中で指導助言する。
- ・30ページ以上達成した生徒には、ステッカーを貼って評価する。(たんぽぽ)
- ・小学校の自主勉強ノートとの継続を意識させ、自分で勉強することの意義を指導する。
- ・表紙の紙は「〇冊目」という文字を入れ、多めに印刷して学校保管しておく。
- ・年間パーフェクト賞の表彰があることを知らせ、意欲的に取組ませる。
- ・試験発表中にワークを何十ページもやることがないように、日ごろからこまめに宿題に出すなど、生徒がガッチリノートに時間がさけるよう計画的に指導する。

3. 授業づくりの基盤（学習規律）について

①授業あいさつ

- ・校内で授業挨拶のやり方を統一して指導する。
- ・チャイムが鳴る前に、学級委員は前に出ておく。
- ・チャイムと同時に（学習係りの点検が終わったら）、学級委員は号令をかける。
- ・1学期は全学年、5カウントの声を出して指導する。
椅子を入れる、気を付けをする、動かない、（服装チェック）、頭を下げて礼をする、着席がかかるまで座らない。
- ・できないときは必ずやり直しをさせることで、レベルの高い挨拶を指導する。
- ・「3学期はカウントなしで当たり前にできるようになる」という目標を意識させる。
- ・2学期については、1学期の状況を見て判断する。

②2分前着席

- ・生徒指導部、生徒会と連携して強化週間を設ける。
- ・2分前の音楽で座る指導をし、すぐに学習係りの点検を行う。その後学級委員は挨拶の号令をかける。そうすることで、挨拶後にスムーズに授業スタートできる。
- ・10分休憩は遊ぶ時間ではなく、授業準備のための時間であることを指導する。
- ・授業準備をしてからトイレ等に行くように指導する。

③学習係

- ・2分前の音楽で前に出て、すぐに忘れ物点検をする。
- ・点検簿は全校で統一する。
- ・点検のやり方を点検簿の裏に貼り付けておく。
例：「忘れ物をした人は立って下さい。」
「9番小林です。ワークを忘れました。次は必ず持ってきます。」
「宿題はワークのP.35でした。忘れた人は立ってください。」
「10番藤井です。宿題をやるのを忘れました。今日中にやって先生のところに持って行きます。」
- ・毎学期の初めに学習係り会を持ち、点検のやり方を教え、リーダーとしての役割を自覚させる。
- ・伝達・世話の他に学習リーダーとしての仕事も与えていく。（予想問題や掲示物の作成、注意の声掛けなど）

④教育環境

- ・各学年のフロアに、工夫をこらした掲示物を作成する。
- ・校内に生徒の作品が多く展示することで、ひとり一人の輝きを評価し、自己肯定感や相互理解につなげる。
- ・掲示物へのいたずらがあった場合、放置せず、すぐに取り組む。
- ・すべての教室で、机の位置を床にマーキングしておく。
- ・黒板に連絡事項を書かない。（ホワイトボード等の準備）
- ・放課後の環境整備、トイレのスリッパ、雑巾の整理に課題が残る。学年で声を掛け合い、放課後の教室環境を整える。

4. 集団づくりについて

①学活交流

- ・学活の流れを校内で統一して指導する。
- ・1学期(6月)は2年生, 2学期(11月)は3年生, 3学期(2月)は1年生の午後学活を, 他学年の班長, 学級委員, 生徒会が見学する。
- ・他学年から学んだことを自分たちのクラスに還元するよう, リーダーシップを発揮させる。
- ・学活で班の関わりを学ぶことが, 各授業のグループ学習やペアワークに反映される。学活の持つ大きな意義を指導する。
- ・形や流れがマンネリにならず深まっていくためにはどのような担任のアプローチが必要か, 研修を行う。

5. その他, 学校全体での統一事項

- ・掃除は班替えをするまで固定する。班内での役割分担を細かく決め, 点検簿に明記する。
- ・班の席は男女交互とし, 班の並びは全クラス統一する。席のローテーションはしない。

前				前		
女	男	女		1班	4班	7班
男	女	男		2班	5班	8班
女	男	女		3班	6班	9班

- ・授業中に席を立てて後ろのロッカーにプリントや教材を取りに行かせない。
- ・授業中に移動教室や少人数教室から自分の教室に忘れ物を取りに行かせない。
- ・授業遅刻者は勝手に席に座らせない。必ず理由を言って来させてから着席させる。
- ・手ぶらで移動教室に来ないように指導する。
- ・黒板に連絡事項を書かない。授業の板書のみ。
- ・座席表を作成し, 担任との情報交流に役立てる。

6. 小学校への乗り入れ授業について

- ・体育大会前にラジオ体操の指導 5月
- ・理科授業 7月
- ・6年生を対象とした生活指導 3月
- ・6年生を対象とした英語の授業 毎月

小学校からの乗り入れ

- ・夏休みの宿題指導 7・8月

培遠中学校区 授業チェックシート

授業規律	1	5秒カウントで「姿勢を正して大きな声であいさつ」を指導している。	目標値 90%
	2	正しい姿勢のモデルを示し、良い「聞く姿勢」を指導している。	
	3	机の位置のマーキング、授業前のゴミ拾い等で学習環境を整えている。	
	4	座席表を用いて授業の評価を行い、担任と連携し評価している。	
	5	委員会や班、学習系の点検活動を仕組み、集団作りと連動させて指導している。	
授業手順	6	毎授業、生徒にめあてを示している。	目標値 90%
	7	めあては、具体的で付けたい力がよくわかるゴール設定になっている。	
	8	授業の最後に、まとめをしている。	
	9	めあてと対応したまとめをおこなっている。	
	10	生徒にふりかえりをさせている。(毎授業でなくても単元ごとでも良い)	
	11	ふりかえりはわかったこと、わからなかったことを具体的に書くよう指導している。	
定着 書く力の育成	12	毎授業(毎単元)ノート(ワークシート、レポート)を書かせている。	目標値 90%
	13	全員がノートを書くよう指導している。	
	14	ノートに自分の答え(考え)を書かせている。	
	15	ノートに人の考えを聞いて参考になったことを書き加えさせている。	
	16	ノートに人の考えを聞いて深まった自分の考えを書かせている。	
指導改善・工夫	17	ノートを参考に予習・復習ができるよう、やり方を指導している。	目標値 90%
	18	ペア活動やグループ活動などを適宜使っている。	
	19	実物や写真、カードなど、視覚に訴える教材を工夫したり提示している。	
	20	長い文でダラダラ話さず、「短文で簡潔に」を意識して話している。	
	21	聞かせる時は「黙って聞きなさい」という指示だけでなく、何に気をつけながら聞くのか、などを指示したり、聞かせる内容の工夫や精選を行っている。	
	22	定期テストだけでなく、小テストや単元テストなどを行っている。	

授業規律・授業づくり 統一指導事項

どのクラスも、どの授業も、同じ指導を徹底！

学習規律

- 教師は早めに教室に行き、2分前着席を指導する。すぐに学習係による点検活動を行う。
- 授業前に机をまっすぐにそろえるよう指導する。（担任は、机の位置をマーキングしておく）
- 授業前にゴミを拾うよう指導する。
- 座席表には、欠課、授業遅刻、忘れ物、私語などの気になることその他、良いところも書き、担任と連携する。
- 学級委員は2分前には前に出ておくよう指導し、チャイムと同時に号令をかけさせる。（5秒カウントで椅子を入れて起立し気をつけの姿勢、「お願いします」と言った後3秒カウントで礼、「着席」がかかるまで勝手に座らない）
- 授業ははじめの挨拶がそろわない時は必ずやり直しさせる。
- 間く姿勢については、学活、授業、集会などあらゆる場面で指導する。
- 試験中は姿勢を保つことを指導する。（伏せさせない、寝させない）

授業づくり

- 単元計画を作成し、単元の目標に基づいた「かく活動」を計画的に仕組む。
- 思考力、表現力の向上のため、課題解決の道筋を組み立て説明させる活動や目的にあった適切な言語活動を仕組む。
- 意欲を引き出す「めあて」、わかりやすく的確な「まとめ」、自分のことばで書く「振り返り」を確実に行う。
- 30%未満の児童生徒への手立てをさらに工夫し、日常的に実践する。
- 生徒全員がノート（ワークシート、ワークブック等）を書くよう指導する。
- 黒板を写すだけ、から、メモをとる、自分の考えを書くなど書く力が伸びるノート指導を工夫する。

家庭学習

- 家庭学習は最低でも1時間はがんばれるよう指導する。
- 毎日宿題をやりきらせる。学校として統一して出す宿題は
①漢字ノート ②英語ノート ③たんぽぽ全行日記

本年度の数値目標

授業ノートを確実に書いている、と答える生徒の割合	・・・95%
平日に1時間以上家で学習する、と答える生徒の割合	・・・90%以上
授業は楽しく、わかりやすい、と答える生徒の割合	・・・90%以上